

報告事項 1 令和 3 年度事業報告

令和 3 年度 重点課題・重点事業（事業報告）説明資料

重点課題：

- 1 地域包括ケアにおける看護の機能強化
- 2 看護職の働き方改革の推進
- 3 看護職の役割拡大の推進と人材育成
- 4 看護政策について熟知し、政策実現活動に参画
- 5 地域における危機管理体制の強化

重点事業：

- 1-1 地域包括ケアシステムを支える看護職連携活動推進事業
- 1-2 在宅・施設等の看護の機能強化事業
- 1-3 看護職出向支援事業

- 2-1 看護職の働き方改革への取り組み事業
- 2-2 看護職の県内就業と定着の推進事業

- 3-1 継続教育の充実事業
- 3-2 特定行為研修制度・新たな認定看護師制度・看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）の普及推進事業
- 3-3 日本看護協会が推進する「資格活用基盤の強化」事業の理解と協力事業

- 4-1 看護管理者の機能強化並びに政策力強化事業
- 4-2 日本看護協会が推進する「看護師基礎教育 4 年制化への制度改革」推進協力事業
- 4-3 ナース・プラクティショナー（仮称）制度構築の理解と推進協力事業
- 4-4 准看護師制度が持つ課題の共有事業

- 5-1 大規模災害発生時の対応・体制の整備
- 5-2 感染症対策の整備

1 地域包括ケアにおける看護の機能強化
1-1 地域包括ケアシステムを支える看護職連携活動推進事業

実施内容

- 1 地域包括ケアの実現を支える看護機能連携システムの推進
- 2 支部活動を共有し、看護職連携活動の推進

成果(進捗報告)

- 新型コロナウイルス感染防止のための支部合同研修を開催し、最新情報の提供、地域の課題及び取り組み等を共有
- 支部理事等が市町の会議等に参加し、地域の実情を把握
- 理事会での支部活動報告により、活動を共有

実施内容

1 地域包括ケアの実現を支える看護機能連携システムの推進

- 1) 新型コロナウイルスの感染拡大により、多くの行事が中止又はWeb会議等になり看護機能連携システムの推進にまで至らなかったが、開催された会議や役員会では情報交換・共有ができた
- 2) 新型コロナウイルス感染症に関する研修の希望が各支部からあり、ハイブリッドによる支部合同研修を開催し、最新情報の提供、地域の課題等共有した

2 支部活動を共有し、看護職連携活動の推進

- 1) 理事会において、支部活動の状況を報告し情報共有を図った
- 2) 支部合同研修・交流会の開催結果を、香川県看護協会事業活動実践報告会で第3支部が報告し、活動を共有した
実践報告会：令和4年3月5日
- 3) 理事会報告時の資料をホームページに掲載し、支部活動の共有や周知を図った

1 地域包括ケアにおける看護の機能強化
1-2 在宅・施設等の看護の機能強化事業

実施内容

- 1 人材育成及び資質向上
- 2 訪問看護ステーション及び介護施設等へのJNAラダー導入の推進
- 3 訪問看護総合支援センター(仮称)設置準備
- 4 施設看護職の資質向上とネットワークの推進
- 5 職能活動のPR
- 6 高齢者施設等に感染管理認定看護師(ICN)を派遣

成果(進捗報告)

- 訪問看護推進研修(一般研修とJNAラダーを高める看護実践能力向上研修)及び訪問看護師養成講習会の開催
- 訪問看護総合支援センター設置準備のための検討、訪問看護に係る現状と課題の共有
- 高齢者施設等に感染管理認定看護師(ICN)を派遣し、新型コロナウイルス感染拡大の防止

実施内容

1 人材育成及び資質向上

- 1) 訪問看護師養成講習会は、eラーニングと集合研修を併用して7月3日から11月13日まで実施し、12名に修了証を発行した。しかし、訪問看護ステーション実習はコロナ禍で実施できていない
- 2) 訪問看護推進研修は訪問看護師養成講習会と合同開催の一般研修を5回実施し、延べ62名の参加があった
- 3) 訪問看護入門研修は令和4年2月12日に実施し、11名の参加があった
- 4) 在宅医療及び訪問看護推進研修事業はコロナ禍で実施できていない

2 訪問看護ステーション及び介護施設等へのJNAラダー導入の推進

看護実践能力向上研修でJNAラダーの4つの力を高めるための研修を4回開催し、延べ67名の参加があった

3 訪問看護総合支援センター(仮称)設置準備

訪問看護の拠点となる訪問看護総合支援センター(仮称)の設置に向け、準備委員会にて検討した

4 施設看護職の資質向上とネットワークの推進

- 1) 看取りガイドラインの普及及び研修会を12月12日に開催し、54名の参加があった
- 2) 高齢者施設における感染管理についての実態把握と課題を整理した

5 職能活動のPR

看護師職能委員会Ⅱ(介護・福祉関係施設・在宅等領域)の活動(看取りケアの質の向上、職場の活性化に向けた人材育成)の周知を行った

6 高齢者施設等に感染管理認定看護師(ICN)を派遣

高松市からの依頼により、6名の感染管理認定看護師(ICN)を7施設に11回派遣した

1 地域包括ケアにおける看護の機能強化
1-3 看護職出向支援事業

実施内容

- 1 助産師出向及び院内助産普及への取り組み
- 2 看護職出向のシステムを検討

成果(進捗報告)

- 助産師の研修目的出向2名が1日、助産師出向延べ24日間実施
- 助産師出向支援導入事業10周年記念講演会実施
- 院内助産・助産師外来・助産師出向等に関する調査を実施し業務活動実践報告会で報告

実施内容

1 助産師出向及び院内助産普及への取り組み

- 1) 偏在是正目的、研修目的出向の実施
 - ・偏在是正目的出向：小豆島中央病院へ高松赤十字病院とさぬき市民病院から4名が延べ24日間出向した
 - ・研修目的出向：さぬき市民病院へ小豆島中央病院から2名が1日間出向した。
- 2) 産科医療機関へのニーズ調査の実施
 - ・令和4年2月産科標榜施設19施設に実施 結果を助産師出向推進協議会及び事業活動実践報告会にて報告
- 3) 院内助産システムの普及
助産師出向支援導入事業10周年記念講演会を実施し、助産師出向や院内助産について実践者から報告し、広報した

2 看護職出向システムを検討

- ・訪問看護従事者の確保に向けたシステムの検討
- コロナ禍での人材不足で出向ができなかった

2 看護職の働き方改革の推進
2-1 看護職の働き方改革への取り組み事業

実施内容

- 1 看護職の働き方改革の推進
- 2 看護職の勤務環境改善の推進

成果(進捗報告)

- 看護職の働き方改革に係る実態調査の実施
- 働きやすい職場環境の推進

実施内容

1 看護職の働き方改革の推進

日本看護協会が提案した「就業継続が可能な看護職の働き方」について、看護職の理解を促進するために、看護代表者協議会等で情報提供を行った

2 看護職の勤務環境改善の推進

- 1) 看護業務の効率化、生産性向上、労働環境改善に係る先進事例として、香川県看護協会事業活動実践報告会で2病院の取り組みを報告した

報告Ⅰ「看護師の働き方改革 ―看護記録カイゼン―」

報告者：香川大学医学部附属病院 看護師長 角田 光代

報告Ⅱ「DiNQLデータを活用した多職種協働における安全管理と労働環境改善への取り組み」

報告者：回生病院 副看護部長 松本美保子

- 2) 看護業務の効率化 先進事例アワード2020 優秀賞受賞

先進事例報告「入退院支援の活動からつなが看護へ」(リモート)

― 外来でのスクリーニングを看護計画に直結させる ―

報告者：公立羽咋病院 医療サービス推進室 室長 山中 由貴子

1) 2) の実施日時:令和4年3月5日 10:30~15:30 参加者:99名

- 3) 働き続けられる労働条件や環境づくり、働き方改革の推進、看護職の労働時間管理の適正化に向けた取り組み等の実態を把握

社会経済福祉委員会が実施結果を香川県看護協会事業活動実践報告会で報告

- 4) 日本看護サミット2021へのWeb参加

メインテーマ:看護職の就業継続が可能な働き方で、看護の未来を拓く

日程:令和4年2月4日 参加者:8名

2 看護職の働き方改革の推進

2-2 看護職の県内就業と定着の推進事業

実施内容

- 1 ナースセンター事業の機能強化
- 2 看護の魅力等普及活動
- 3 看護職のナースセンター届出制度の活用推進
- 4 地域医療体制に向けた看護職の確保

成果(進捗報告)

- 看護職員対象の就職説明会をYouTubeでオンデマンド配信し、県内の病院等の情報提供
- 中・高校生等にふれあい看護体験・看護の出前事業を実施し、看護の魅力を普及
- 看護力再開発講習会(基本コース・看護基礎技術コース)を開催し、就労支援

実施内容

1 ナースセンター事業の機能強化

- ・ナースセンター・サテライト相談(ハローワーク高松・丸亀・観音寺)を実施
- ・就業支援コーディネーターの人材育成のために職業紹介責任者講習会受講
- ・かがわナースナビによる看護関係の最新情報を提供
- ・看護職員合同就職説明会は、コロナにより中止したが、ハローワークとの協働による就職フェアとあわせて3月1日から20日までYouTubeでオンデマンド配信による看護職員を対象とした就職説明会を開催
参加施設35施設、閲覧回数延べ3,272回
- ・7月～9月に看護職員確保状況調査を医療機関87施設(回収数81施設)と看護教育機関19校23科(回収数19校22科)に実施
- ・求人状況調査の実施

2 看護の魅力等普及活動

- ・中・高校生等を対象にふれあい看護体験を実施 10施設で58名参加
- ・看護の出前事業を実施 2校で64名参加

3 看護職のナースセンター届出制度の活用推進

- ・ナースセンターニュース(年2回:かがわ看護だよりとの合併号4月、10月発行)によりPR
- ・NCCS、届出支援システム「とどけるん」の管理運用を行った

4 地域医療体制に向けた看護職の確保

- ・「保健師・看護師等を登録する人材バンク」への取り組み
- ・潜在看護師の就労支援のために看護力再開発講習会の基本コースを1月11日から28日に開催し5名受講。看護基礎技術コースは4回実施し延べ15名参加

3 看護職の役割拡大の推進と人材育成 3-1 継続教育の充実事業

実施内容

- 1 質の高い看護人材を育成するラダーと連動した継続教育の推進
- 2 看護実践に活かされる研究の推進と香川県看護学会の活性化
- 3 コロナ禍における新人看護職員研修の充実

成果(進捗報告)

- ラダーと連動した継続教育をオンライン研修も導入し、企画・実施
- 看護実践に活かされる研究推進に向け、香川県看護学会をWEBにて開催
- コロナ禍における新人看護職員育成の現状や課題についての情報交換・討議の場を企画・開催

実施内容

1 質の高い看護人材を育成する継続教育の推進

- 1) JNAラダーレベル到達のための研修については、16研修を企画し実施した。今年度もコロナ感染対応として、Zoomによるオンライン研修を中心に開催し、11月～12月実施の5研修についてのみ集合研修での開催となった
- 2) 令和3年度は、実践スキル向上を図るための新企画を5研修及びJNAオンデマンド研修を4研修取入れて企画し、各研修の定員充足率は90～150%、ラダー研修としての受講者数も増加した。コロナ禍ではあったが、オンライン研修等自宅からの参加が可能となったことも受講者増加に繋がった

2 看護実践に活かされる研究の推進と香川県看護学会の活性化

- 1) 研究指導者育成研修として3研修を企画したが、定員充足率は45～66%台であり、指導者としての参加者数も少なかった
- 2) 自己啓発・自己研鑽の場として香川県看護学会を1月30日WEB開催し、2月10日～18日録画配信した。申込者数590名（学生286名含む）、当日参加235名（学生59名含む）録画配信での視聴回数は161回であった

3 コロナ禍における新人看護職員研修の充実

- 1) 実態把握と課題の共有については、理事会及び看護代表者会で意見交換の場を企画し、現状及び取組状況や課題等について討議した
- 2) 新人看護職員多職種合同研修の企画として、オンライン研修での開催はできなかったが、香川県ナースセンター担当者も参加して、悩みや不安の表出および相談対応できる場を持った

3 看護職の役割拡大の推進と人材育成
3-2 特定行為研修制度・新たな認定看護師制度・看護師クリニカルラダー
(日本看護協会版)の普及推進事業

実施内容

- 1 「特定行為に係る研修制度」「新たな認定看護師制度」等の情報提供
- 2 JNAラダーの普及とCLOCMiP®の推進のための取り組み
- 3 ラダー導入に向けた課題の抽出と支援のあり方の検討

成果(進捗報告)

- 「特定行為に係る研修制度」「新たな認定看護師制度」等の情報提供
- JNAラダーの普及とCLOCMiP®の推進のため、研修企画及び情報提供の実施
- 看護師職能委員会Ⅰ企画の交流会を通して、動機づけ及び評価における課題と対策について検討

実施内容

1 「特定行為に係る研修制度」「新たな認定看護師制度」等の情報提供

- 1) 日本看護協会から発信される情報を提供・広報した
- 2) 感染管理認定看護師養成機関の令和5年度県内開校に向けた支援及び経過について情報提供を行った

2 JNAラダーの普及とCLOCMiP®の推進のための取り組み

- 1) 看護師職能委員会Ⅰが開催する交流会を11月20日に開催し、ラダー推進に向けた「動機づけ及び評価における課題と対策」について、取組んでいる施設の実践事例をもとに情報共有やラダー推進のあり方について検討した
- 2) アドバンス助産師の活用を推進し、再認定者を増やすよう働きかけた。また、アドバンス助産師の長けた能力・スキルの活用推進を図り、認定更新の意識化を推進するためニュースレターを配布した

3 ラダー導入に向けた課題の抽出と支援のあり方の検討

- 1) 看護師職能委員会Ⅰが企画・開催の交流会を通して、動機づけ及び評価における課題と対策・支援のあり方について検討した

3 看護職の役割拡大の推進と人材育成

3-3 日本看護協会が推進する「資格活用基盤の強化」事業の理解と協力事業

実施内容

- 1 日本看護協会が推進する「資格活用基盤の強化」への協力
- 2 認定・専門看護師、特定看護師、認定看護管理者派遣事業の構築

成果(進捗報告)

- 日本看護協会が推進する新たな制度について情報を発信し理解の促進に努めた
- 感染管理認定看護師を感染者が発生した施設や老人保健施設、障害者施設へ派遣

実施内容

1 日本看護協会が推進する「資格活用基盤の強化」への協力

- 1) 新たな制度について看護職の理解の促進のための情報発信
 - ・ 広報等により会員に向けた情報発信を行った
 - ・ キャリア形成としての受講歴管理システムのキャリアース登録を推進する(3月末 1,775名)
- 2) 国家資格とマイナンバー制度との連動に向けた未就業者の届出、届出制度の推進
 - ・ ナースセンター登録の未就業者の届出推進のための広報活動を行った
 - ・ 「マイナンバー法」「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の改正等国の動向や日本看護協会の動き等の情報を発信した

2 認定・専門看護師、特定看護師、認定看護管理者人材バンク派遣事業の構築

- 1) 資格認定者を地域で活用推進していくためにまず今年度は感染管理認定看護師を障害者施設、コロナ感染者が発生した施設等に派遣した

4 看護政策について熟知し、政策実現活動に参画
4-1 看護管理者の機能強化並びに政策力強化事業

実施内容

- 1 政策力強化
- 2 看護管理者の質の向上

成果(進捗報告)

- 香川県行政に令和4年度予算と政策に関する要望書を提出し、新規に要望した認定看護師教育機関感染管理分野の新規開設について補助対象事業となった
- 看護管理者研修を実施

実施内容

1 政策力強化

- 1) 県行政への要望書を提出する(8月12日)
 - ①認定看護師教育機関感染管理分野の新規開設について
 - ②訪問看護総合支援センター(仮称)設置への支援
 - ③特定行為研修受講促進の支援
 - ④准看護師養成について
- ①～④について要望し、①について令和4年度補助対象事業となった
- 2) 看護政策に関する学習会を開催(理事会等)する
 - 8月 7日 新人看護師離職防止について(理事会)
 - 11月14日 看護連盟と共催研修 「専門職としての看護政策実現への道」
公益社団法人日本看護協会 副会長 井伊久美子
- 3) 看護代表者協議会を開催し、県内の病院及び学校の代表者の意見を聴取する
 - 8月 7日 看護職員の離職防止と人材育成について、働き方改革の推進について情報交換

2 看護管理者の質の向上

- 1) 看護管理者研修を実施する
 - 8月 7日 「令和3年度日本看護協会の重点事業及び働き方改革の推進について」
公益社団法人日本看護協会 副会長 井伊久美子 参加者: 34名
 - 12月17日 「香川県の保健医療の現状と課題」
香川県健康福祉部医務国保課 課長 近藤高弘 参加者: 57名
 - 3月 5日 「日本看護協会の取組み～2040年を見据えた看護のあり方～
新型コロナウイルス感染症対策の現状と課題への提案」
公益社団法人日本看護協会 会長 福井トシ子 参加者: 93名
- 2) 看護管理者の交流会を開催する
看護代表者会議時情報交換実施

- 4 看護政策について熟知し、政策実現活動に参画
4-2 日本看護協会が推進する「看護師基礎教育4年制化への制度改革」
推進協力事業

実施内容

- 1 看護師基礎教育4年制化の機運の向上
- 2 看護代表者協議会での情報共有を図る
- 3 関連団体や議員の理解を得るための取り組み

成果(進捗報告)

- 県内立大学の保健師、助産師課程変更について看護だよりで広報
- 看護代表者会議や看護管理者研修等で県内の現状や日本看護協会の動向を報告し情報共有

実施内容

1 看護師基礎教育4年制化の機運の向上

- 1) かがわ看護だよりで基礎教育4年制実施校を紹介し広報活動を行う
 - ・香川県立保健医療大学と香川大学医学部看護学科において、保健師、助産師教育が令和4年から大学院化されたことにより、看護基礎教育が4年制となった2校の教育課程の変更について、かがわ看護だよりで広報した
- 2) 日本看護協会が実施する「看護師基礎教育を考える会」に参加する
 - ・日本看護協会が主催する「全国基礎教育担当者会議」に出席

2 看護代表者協議会で説明し、理解を得るとともに情報共有を図る

- ・日本看護協会の重点政策である基礎教育4年制化についての動向を説明し香川県内の状況を報告した

3 関連団体や議員の理解を得るための機会を作る

- ・香川県知事に対する令和4年度予算と政策に関する要望の中で准看護師教育機関数が多いことへの意見を提出した

4 看護政策について熟知し、政策実現活動に参画
4-3 ナース・プラクティショナー（仮称）制度構築の理解と推進協力事業

実施内容

1 制度創設の必要性に関する情報発信・理解の推進

成果（進捗報告）

- 新たな制度について看護職の理解促進のための情報発信
- 特定行為研修修了者による実践報告会の実施

実施内容

1 制度創設の必要性に関する情報発信・理解の推進

- 1) 新たな制度について看護職の理解促進にむけ情報を発信し、日本看護協会から発信される制度の必要性や定義、役割等についての情報発信を積極的に行った
- 2) 特定行為研修修了者による訪問看護領域での活動について報告会を開催し、理解の推進を図った

4 看護政策について熟知し、政策実現活動に参画
4-4 准看護師制度が持つ課題の共有事業

実施内容

- 1 「看護チームにおける看護師・准看護師及び看護補助者の業務のあり方に関するガイドライン及び活用ガイド」改訂版の活用・啓発
- 2 現在就業している准看護師への支援(入会促進・進学支援)

成果(進捗報告)

- 「看護チームにおける看護師・准看護師及び看護補助者の業務のあり方に関するガイドライン及び活用ガイド」改訂版の活用・啓発の実施
- 現在就業している准看護師への支援(入会促進・進学支援)の実施

実施内容

- 1 「看護チームにおける看護師・准看護師及び看護補助者の業務のあり方に関するガイドライン及び活用ガイド」改訂版の普及
 - 1) 「看護チームにおける看護師・准看護師及び看護補助者の業務のあり方に関するガイドライン及び活用ガイド」改訂版の活用・啓発のための情報提供を実施した
 - 2) 准看護師業務の実態把握のためアンケート等については実施できていない
- 2 現在就業している准看護師への支援(入会促進・進学支援)
 - 1) 准看護師ステップアップ研修をJNAオンデマンド研修活用にて4回(10月2日・1月27日・2月3・4日)開催し、3施設7名の参加であった
 - 2) 准看護師ステップアップ研修時、入会促進及び看護師資格取得に向けた進学支援に関する情報提供を行った
 - 3) 准看護学校訪問については、コロナ感染拡大の影響もあり実施できていない

5 地域における危機管理体制の強化
5-1 大規模災害発生時の対応・体制の整備

実施内容

- 1 日本看護協会との災害支援ナース派遣調整合同訓練による災害支援活動の体制整備
- 2 災害支援ナースの育成
- 3 平常時から、災害発生時の対応・体制の整備

成果(進捗報告)

- 日本看護協会との災害支援ナース派遣調整合同訓練により、具体的な連携の仕方や流れを体験
- 養成研修やフォローアップ研修により学びを深めた
- 合同訓練や研修を通して、災害対応マニュアルの見直しの必要性等課題を整理

実施内容

1 日本看護協会との災害支援ナース派遣調整合同訓練による災害支援活動の体制整備

- 1) 災害支援ナース派遣調整合同訓練(11月9日(火)～11日(木))
初めて被災想定県<香川県東部(長尾断層)地震(M7.0)が発生>として訓練に参加し、日本看護協会・県・被災想定医療機関・県内の災害支援ナースが所属する施設からの情報収集・連絡・報告の流れを確認しながら訓練に臨んだ受援マニュアルの見直し、県との協定(様式)の確認等は今後の課題である
- 2) 令和3年7月の「静岡県熱海市伊豆山地区土石流災害」に対し、見舞金を贈った
- 3) 更新年度の平成17年度登録者が2名中止、11名更新した。登録者は合計111名(施設登録者:27施設109名、個人会員2名)となった

2 災害支援ナースの育成

- 1) 災害支援ナース養成研修(基礎編)(DVD研修)
日 時:7月14～15日
受講人数:延べ44名
- 2) 災害支援ナースフォローアップ研修
日 時:9月4日(土) 13:30～16:00
講 師:香川大学医学部附属病院 災害看護専門看護師 熊野 耕
香川県西讃農業改良普及センター 副主幹 長谷 秀彦
受講人数:45名
- 3) 災害支援ナース養成研修(実務編)
日 時:11月6日(土) 9:00～12:30
講 師:香川大学医学部附属病院 災害看護専門看護師 熊野 耕
受講人数:40名

3 平常時から、災害発生時の対応・体制の整備

- 1) 災害時備蓄品と災害支援ナース携帯用品の在庫確認と整理
- 2) 当会における災害対応マニュアルの見直しは、次年度に検討

5 地域における危機管理体制の強化
5-2 感染症対策の整備

実施内容

- 1 新型コロナウイルス感染症収束に向けた対策
- 2 新型コロナウイルスや新興感染症等発生に向けた感染管理・対応へ整備

成果(進捗報告)

- 障害者施設や児童福祉施設等へ感染管理認定看護師(ICN)を派遣し、各施設の感染管理体制を推進
- クラスターが発生した高齢者施設等に感染管理認定看護師を派遣し、感染の拡大を防止
- 新型コロナウイルス感染症に伴うメンタルヘルス対策、在宅療養支援等に必要な知識や技術の習得のために研修会等を開催
- ワクチン接種や新型コロナウイルス感染症等に係る対応人材(IHEAT)登録及び保健所への派遣体制の整備並びに派遣

実施内容

1 新型コロナウイルス感染の収束に向けた対策

- 1) 県や市からの要請により介護施設や高齢者福祉施設等へ感染管理認定看護師(ICN)を派遣し、各施設の感染管理体制の整備を支援した
 - (1) 感染管理体制の個別支援のための感染管理認定看護師(ICN)の派遣
 - ・高齢者施設 12施設
 - ・障害者施設 14施設
 - ・保育所等 3施設
 - (2) 感染拡大防止のための感染管理認定看護師(ICN)の派遣
7施設11回
- 2) 新型コロナウイルスワクチン接種事業が円滑に進むように、各自治体と協力しながら体制を整え、看護職員の派遣を行った
- 3) 新型コロナウイルスの動向や対策等の情報を、ホームページ等で情報発信を行った

2 新型コロナウイルスや新興感染症等の発生に向けた感染管理・対応の整備

- 1) 感染管理認定看護師の配置がない病院や介護施設へ配置推進の情報提供や相談に応じた
- 2) 潜在看護職等に新型コロナウイルス感染症等に係る対応人材(IHEAT)への登録を勧奨し、協力体制の整備を行った。保健所からの要請に応じてIHEATの派遣を行った
IHEAT登録者 93名(令和4年3月末)